

東横線とみなとみらい線の相互直通運転開始にあわせ、2月1日から 東横線で車体広告電車の運行を開始します

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：上條清文）では、2004年2月1日（日）から、東横線で車体に広告を掲載した電車の運行を開始します。

これまで東京都、川崎市、横浜市にまたがって運行している東横線については、川崎市屋外広告物条例施行規則により、車体広告を実施することはできませんでしたが、昨年、同規則が改正（2003年4月30日公布、5月1日施行）されたことにより、東横線での実施が可能になったものです。

広告は各自治体の条例（広告の大きさは車体側面の10%まで）にのっとり、約75cm×約70cmのものを車体側面のドアと窓の間に、約45cm×約2mのものを窓の下部にそれぞれ掲載します。実施にあたっては首都圏西南部を走る東横線のイメージにあわせ、美観・景観に配慮したデザインとする予定です。

東横線は渋谷、自由が丘、横浜などを結び、1日あたり100万人以上のお客さまにご利用いただいている路線ですが、2月1日からはみなとみらい線への乗り入れを開始することから、広告媒体価値はさらに高まるものと考えています。

当社ではこれまでも、世田谷線（軌道線）で車体広告電車を運行していますが、鉄道線で実施するのは、今回が初めてです。

当社は今後も電車や駅を活用した、より効果の高い交通広告媒体の開発に力を注いでいきます。

東横線で実施する車体広告の概要は以下の通りです。

東横線車体広告の概要

開始日	2004年2月1日（日）
実施区間	渋谷～横浜～元町・中華街 横浜～元町・中華街間は、みなとみらい線内への乗り入れ区間です。
料金	1ヵ月・1編成（8両）あたり、300万円（制作費および消費税は別途）
実施予定	全日本空輸株式会社 実施時期：2004年2月1日～2月29日 編成数：1編成

読売新聞東京本社

実施時期：2004年2月1日～2月29日 編成数：1編成

クイーンズスクエア横浜（車体広告のデザインについては別紙参照）

実施時期：2004年2月1日～3月31日 編成数：1編成

クイーンズスクエア横浜は、みなとみらい線・みなとみらい駅の真上に立地する大型複合施設で、このうち商業施設の専門店街「アット！」や百貨店「クイーンズイースト」のほか、「パンパシフィックホテル横浜」を東急グループが運営しています。

今回の車体広告では、単なる施設の宣伝だけではなく、「みなとみらい駅の開業」や、相互直通運転により「渋谷から最短30分」であることなどを、あわせてPRしていきます。

麒麟ビバレッジ株式会社

実施時期：2004年2月15日～3月14日 編成数：1編成

実施時期については電車運行の都合上、若干、前後することもあります。

クライアントの募集に関するお問い合わせ先

株式会社東急エージェンシー 第1事業本部 コミュニティメディア局

担当：宮間、加藤 TEL 03 - 5561 9429

以上

(別紙) 「クイーンズスクエア横浜」東横線車体広告デザイン

